

令和4年度 ほっとかへんネット稲美 事業報告

(1) 設立準備会【前年度分含む】

①第1回 令和4年2月16日(水) オンライン開催

参加者 10名

- ・県内のほっとかへんネットの活動状況について
兵庫県社会福祉協議会 福祉事業部 岸田氏
- ・各法人の情報共有について
- ・今後の進め方について

②第2回 令和4年3月22日(火) オンライン開催

参加者 11名

- ・設立趣意書(案)、規約(案)について

③第3回 令和4年4月26日(火) 稲美町立障害者ふれあいセンターにて

参加者 10名

- ・設立総会について
- ・事業計画(案)、予算(案)について

(2) 設立総会

令和4年7月30日(土) 稲美町立コミュニティセンターにて

参加者 14名

来賓 稲美町長 中山 哲郎 氏、兵庫県社会福祉協議会事務局次長 杉田 健治 氏

- ・設立趣意書(案)について
- ・規約(案)について
- ・役員(案)について
会長 日の出福祉会 中田 喜久 氏、副会長 加古保育所 須磨 邦彦 氏、
監事 こばと会 山本 隆愛 氏
- ・令和4年度事業計画(案)について
- ・令和4年度予算(案)について

(3) 記念講演会

令和4年7月30日(土) ※設立総会后 稲美町立コミュニティセンターにて

参加者 27名

- ・社会福祉法人の「地域における公益的取り組み」と社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)について

講師 兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会 代表 澤村 安由里 氏
(社会福祉法人山路福祉会 特別養護老人ホーム山路園 施設長)

(4) 実務担当者会議

①第1回 令和4年10月31日(月) 稲美町立障害者ふれあいセンターにて
参加者 14名

- ・「ほっとかへんネット」に期待される役割について
兵庫県社会福祉協議会 福祉事業部 岸田氏
- ・グループワーク「稲美町内で起こっている課題」について
◇町内全体的なこと

情報

- 例えばオープンかふえ等の取り組みの情報が届かない(広報に記載も、見ない)。
- 情報発信がPCやスマホ。←見られないので知らない等、情報の入手ができない。
- 情報が入手できても、移動手段がなく参加したくともできない。

地域

- ごみ問題一つとっても(特に独居の方)、分別方法、出す曜日や時間帯がわからない。
また、地域や自治会のローカルルール等がわからない。
- 地域格差や新旧住民のこと。新興住宅地と既存集落で起きている課題が違う。
新興住宅地では、近所のことわからない(関心がない)。
- 既存集落では、高齢化が進み独居等の問題等々(これは古い新興住宅地にも言える)。

普段の仕事で感じる課題

- コロナ禍での交流の難しさ。
- はざま問題、知識の伝承。
- 8050問題等、また育児困難など複合課題の協議の場が見当たらない。
キーパーソンがない(子どもがない)、子どもではなく兄弟や親せきが施設に入所等の相談に来られるケースが増えている。
- 相談窓口のハードルが高い。障がい者や引きこもりの方への支援。
- 人手不足のこと(担い手、各施設・ボランティア等々。)

②第2回 令和4年12月19日(月) 稲美町立障害者ふれあいセンターにて
参加者 13名

- ・グループワーク「第1回実務担当者会議で出た課題への対応」について
自法人でできること、「ほっとかへんネット稲美」として対応可能と思われるものに分けて協議。
自法人だけでは解決が難しい課題は、狭間の問題や複合課題などが多く、それらに対応するための取り組みを、「ほっとかへんネット稲美」の取り組みの柱とすることを確認。
- ・「ほっとかへんネット稲美」パンフレット作成について

③第3回 令和5年2月6日(月) 稲美町立加古福祉会館にて
参加者 13名

- ・令和5年度の取り組み【事業計画(案)参照】について協議。
- ・はざま問題である引越支援への協力依頼について

(5) パンフレット作成

- 各法人より紹介文と写真の提供を頂き、フルカラーA3版で1,000部印刷。
各法人及び町内公共施設を中心に設置。
※事務局である社会福祉協議会のホームページからダウンロード可能

(6) はざま問題支援

- 支援を要する独居高齢者の引越支援について
令和5年2月21日（火）片付け支援 2法人から3名参加（県社協岸田氏も協力）。
令和5年3月 9日（木）片付け支援 2法人から4名参加。
令和5年3月22日（水）ゴミ出し支援 1法人から4名参加。
以降、令和5年度も継続支援。

(7) 外部会議等

- 令和4年度社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会
令和5年3月23日（木） こばと会理事長山本氏、事務局1名参加。
県内各協議会の取り組みについて情報交換。